

あなたの身近にいつも…アキレス

Achilles

証券コード：5142

第99期 中間報告書

2018年4月1日 ~ 2018年9月30日

未来へ世界へ、
……ing.

CONTENTS

トップインタビュー	P1
セグメント別事業の概況	P3
連結財務諸表	P6
トピックス	P7
会社概要／株式の状況	P9

トップインタビュー

株主・投資家の皆様には平素は格別のご支援を賜り深く感謝申し上げます。

当社グループの平成30年4月1日より9月30日までの報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。



代表取締役社長

伊藤 淳

Q 第99期上半期を振り返ってのご説明をお願いします。

A 当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、国内では景気回復基調が継続し、企業の設備投資も大幅に増加した一方で、天候不順の影響もあり個人消費や消費者物価指数は低い伸びで推移しました。海外では米国や中国・アジア新興国経済が好調に推移したものの、米国の通商政策の影響や、中東・北朝鮮情勢、原油価格の上昇傾向などにより、先行き不透明な状況が続きました。

Q どのような取り組みをされたのか具体的に説明ください。

A このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には、省エネルギー関連製品、環境対応製品、健康・生活関連製品など成長分野とインフラ整備関連分野、およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進するとともに継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高41,026百万円(前年同四半期比4.2%減)、営業利益732百万円(前年同四半期比32.8%減)、経常利益1,087百万円(前年同四半期比16.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益704百万円(前年同四半期比42.3%減)となりました。

なお、まことに不本意ではございますが、中間配当につきましては通期業績予想を踏まえて実施を見送らせていただきました。

Q 今後に向けての事業展開についてご説明ください。

A 今後の国内経済は、雇用環境の改善が継続し、個人消費もさらに回復に向かうものと期待されます。その反面、中長期的には少子高齢化が一段と進み、人口減少と年齢構成の変化が生産活動や消費行動に大きく影響を与えることが確実視されます。世界的には、新興国の台頭により生産・消費活動が伸長する一方、地球環境の保護や省エネルギーが重要な課題になるものと思われます。また、IoTやAI技術の発達には新たな事業を創出することとなり、既存事業の変革を求められることが予想されます。

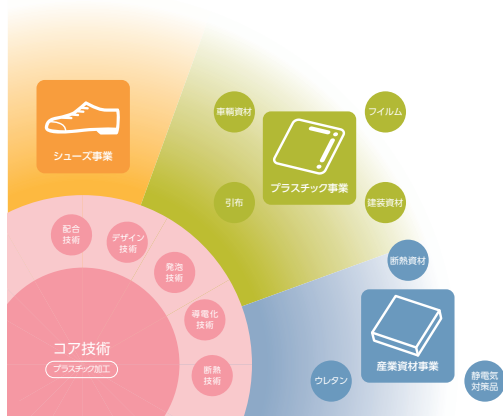
世界・日本における生産活動や消費行動の大きな変化に対応し、持続的な成長を遂げるため、当社グループが保有する技術と経営資源を最大限に活かし、積極的な展開を図ることにより「企業に社会に未来に、新たな価値を創り続けていくこと」を目指します。

Q 最後に株主・投資家の皆様に向けて一言お願いします。

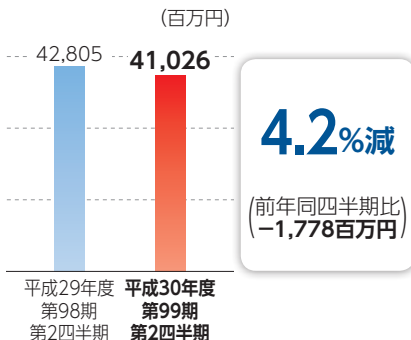
A 当社グループは、持続的成長を遂げ企業価値を高めることを目的としてグループ全員が情熱と論理をもって、国際的に逞しい会社を目指し、より大きな企業価値を創造する集団を構築すべく施策を推進いたします。

株主・投資家の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

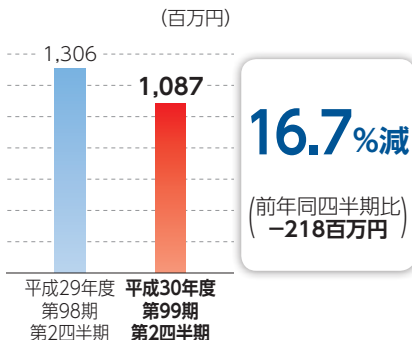
平成30年12月



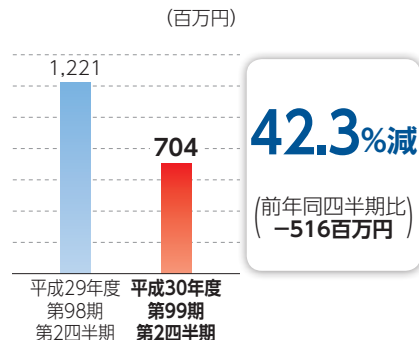
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



セグメント別事業の概況



シューズ事業

シューズ事業

■売上高 **6,257**百万円（前年同四半期比 **15.2%**減）

15.2%

ジュニアスポーツシューズブランド「瞬足」は、「THEE SYUNSOKU(ジ・シュンスク)」を新たに投入し拡販に注力しましたが、海外ブランドの台頭などにより前年売上を下回りました。また、「こどもが一日で一番長く履く

靴…だから、うわばきを変える。」のキャッチコピーで上市した高機能校内用上履きの「瞬足@SCHOOL」が好評を得たものの、シューズ事業全体では前年売上を下回りました。



今シーズンの「瞬足」は15周年をむかえ、原点回帰「勝ちたいキミに、進化したコーナリング！コーナーの覇者となれ！」をキャッチコピーに完全非対称ソールモデルの「THEE SYUNSOKU」シリーズが人気です。



今春、「こどもが一日で一番長く履く靴…だから、うわばきを変える。」のキャッチコピーで発売をスタートしました。ご購入いただいたお客様からお礼の声を多くいただいております。

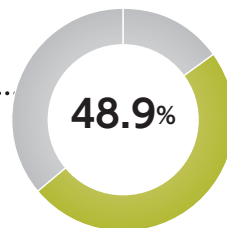


衝撃吸収・圧力分散性に優れた「SORBOTHANE(ソルボセイン)」を搭載する「アキレス・ソルボ」は、お客様の一步一步を快適にするウォーキングシューズです。新たに登場した「リラックス」シリーズは、やわらかな肌のようなソフトレザーを使用し、心地よいフィット感で足元からリラックスが生まれます。



プラスチック事業

■売上高 **20,055**百万円 (前年同四半期比 **1.4%**減)



車輦内装用資材は、中国向けは日系自動車メーカーの中国国内販売の好調により堅調に推移しましたが、国内・北米向けは自動車メーカーの減産の影響を受け、全体では前年売上を下回りました。

フィルムの国内事業は、産業用が苦戦し前年売上を下回りました。輸出は、欧州向け窓用が好調に推移し、前年売上を上回りました。北米事業は、産業用と医療用で苦戦し、前年売上を下回りました。農業分野は、前年売上を下

回りました。

建築資材の床材は、主力のクッションフロア市場が伸び悩み前年売上を下回りましたが、壁材は、新柄投入の効果が表示大きく伸長し、建築資材全体では前年売上を上回りました。

引布商品は、主力のポートが伸び悩み、前年売上を下回りました。



海外向け窓用フィルム

四季を通して快適な屋外空間の創造をお手伝いする屋外窓用フィルムが海外で評価を得ています。使用例として、イベント会場の特設テント、一般テントの窓、パティオ、テラスの窓用、巻き上げ式システム等があります。



海外商業施設向け機能性壁紙「Walltech」

機能性フィルム+非発泡塩ビ+不織布構造により、高い表面強度と寸法安定性を備えた壁紙です。裏面不織布の機能により、壁紙剥離時に下地を傷めることがなく、リニューアル時の手間を省くことができるため、ホテルや商業施設での使用に最適です。



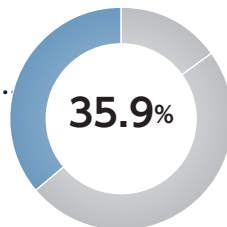
「アキレスジョイント」

「アキレスジョイント」は、フレキシブルな特性を活かして様々な排水管接続の継ぎ手として重宝されています。時代の要請を汲み取り、耐火性能の高いステンレスジョイントや内面平滑などの新商品も順次投入しています。



産業資材事業

■売上高 **14,714**百万円 (前年同四半期比 **2.4%**減)



ウレタンは、寝具・車輻・雑貨用など主力製品が好調に推移し、前年売上を上回りました。

断熱資材は、ボード製品、システム製品は建材向けが苦戦し前年売上を下回りました。パネル製品は畜産向け、スチレン製品はブロックの受注が好調に推移し、いずれも前年売上を上回りましたが、断熱資材全体では前年売上

を下回りました。

工業資材は、静電気対策品が、海外半導体ユーザーの生産調整の影響を受け、前年売上を下回りました。また、RIM成形品は、海外市場での分析機器販売不振の影響により、前年売上を下回りました。



温度調節機能つきウレタンフォーム
「ThermoPhase (サーモフェーズ)」

表面にPCMマイクロカプセルをコーティングすることで、温度調節機能を有したウレタンフォームです。寝具やインテリア商品などの生活雑貨から介護用ベッドや車椅子用クッションなど幅広い分野への展開が期待されています。



「トリトンレボ-P (壁用)」

新製品「トリトンレボ-P (壁用)」は、平成24年に当社が販売を開始し好評を得ている樹脂複合シートを採用した「トリトンレボ-P (天井用)」をベースにし、かん合部構造を改良した壁仕様に適した断熱パネルです。発売後、多くの現場でご採用いただき、好評をいただいております。



ウエハー搬送システム「NA-300LA」

従来の「プロトスキャリア」をさらに進化させ、自動化に対応した容器です。コンプレッションタブという特殊機能がウエハーを輸送中の振動から保護し、安全に搬送することでお客様に好評をいただいております。

連結財務諸表

● 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 平成29年9月30日現在	当第2四半期 平成30年9月30日現在	前期 平成30年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	48,406	46,861	48,815
固定資産	29,339	30,437	30,750
有形固定資産	18,760	19,652	19,468
無形固定資産	443	376	433
投資その他の資産	10,136	10,408	10,848
資産合計	77,745	77,299	79,566
【負債の部】			
流動負債	24,724	24,229	25,950
固定負債	8,545	8,557	8,556
負債合計	33,269	32,787	34,506
【純資産の部】			
株主資本	42,180	41,698	42,294
その他の包括利益累計額	2,294	2,814	2,765
純資産合計	44,475	44,512	45,059
負債・純資産合計	77,745	77,299	79,566

- 注記1. 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。
 2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当連結会計年度の期首から適用しており、上記の四半期連結貸借対照表に係る前第2四半期及び前期については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

● 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	当第2四半期 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	前期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
売上高	42,805	41,026	87,910
売上原価	33,527	32,496	69,595
売上総利益	9,277	8,529	18,315
販売費及び一般管理費	8,187	7,796	15,971
営業利益	1,090	732	2,343
営業外収益	294	402	587
営業外費用	78	47	162
経常利益	1,306	1,087	2,769
特別利益	472	9	610
特別損失	220	58	460
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,558	1,039	2,919
法人税、住民税及び事業税	401	279	785
法人税等調整額	△64	54	△150
四半期(当期)純利益	1,221	704	2,284
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,221	704	2,284

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	当第2四半期 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	前期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,046	1,642	4,670
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,553	△2,122	△3,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,568	△1,271	△2,518
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	△52	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,123	△1,803	△1,296
現金及び現金同等物の期首残高	9,949	8,653	9,949
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	8,825	6,849	8,653

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

「人とくるまのテクノロジー展2018名古屋」2部門共同出展

平成30年7月11日から3日間、名古屋市で開催された同展示会に、工業資材販売部と車輛資材販売部が共同出展いたしました。当社独自の導電処理技術「STポリ」を中心に導電処理・静電気対策製品、機能性車輛内装材をデモンストレーションと共にご紹介し、今回あらたにRIM商品販売課より大型プラスチック成形品「アキレススタッフロン」、研究開発グループからめっき技術を応用した「皮革調立体タッチパネル」(参考出展)も出品しました。今後も、当社の強みである幅広い分野にわたる技術力を生かし、豊かな社会の実現に向け技術・製品開発に注力してまいります。



シューズ事業

自社開発新素材搭載シューズ「MEDIFOAM」第二弾の登場とプロランナーとの契約締結

「MEDIFOAM」の今回のモデルは、シームレスなアッパーやグラフィカルな立体プリント等を採用し、洗練されたデザインとなっています。また第一弾からアウトソール(靴底)の意匠変更も実施し、屈曲性や耐久性も向上させています。また、日本の女子トップトレイルランナー吉住友里選手とアンバサダー契約、プロランナーの先駆け藤原新選手と開発アドバイザー契約をし、さらにブランドを盛り上げてまいります。





プラスチック事業

大型救助ボート「ARD-730」がレッドブル・エアレース千葉2018のレスキューボートに採用

平成30年5月26日から2日間に渡って開催された、レッドブル・エアレース千葉2018において、当社の大型救助ボート「ARD-730」が、レスキューボートとして採用されました。幸いレース当日は事故も無く救助艇は海上での待機となりましたが、救助活動を想定した訓練では待機海域から救助現場への急行や海面から救助者を引き上げる動作の確認などを行い、「ARD-730」の速力や安定性等レスキューボートとしての性能に高い評価をいただきました。

今後も「ARD-730」の積極的なアピールを進め、海上スポーツ等のレスキューボートとして採用を目指してまいります。

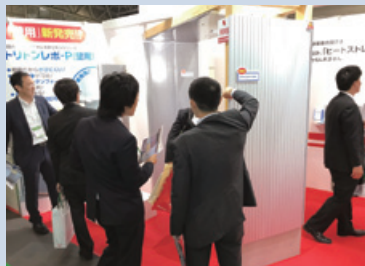


産業資材事業

「国際養鶏養豚総合展 IPPS JAPAN 2018」出展

平成30年5月30日から3日間、名古屋市内にて3年ごとに開催される同展示会に出展いたしました。当社では新商品「トリトンレボ-P(壁用)」を展示の中心にすえ、既存品である「トリトンレボ-P(天井用)」と合わせることで、畜産事業者の要望である「さびにくい断熱材」の施工部位の広がりをPRしました。当社の「アキレストリトンシリーズ」は、芯材に断熱性能の高い硬質ウレタンフォームを採用し、畜舎の断熱効果を高めることで高温化を防ぎ、ヒートストレスから家畜を守ります。生産者から見て、育成率や生産性の安定と、飼料コストの削減などに貢献することとなり、大変好評をいただいております。

今後も更なる畜産市場への事業規模拡大のため製品開発をより一層推進し、拡販を目指してまいります。



会社概要 / 株式の状況

● 会社概要 (平成30年9月30日現在)

社名	アキレス株式会社
設立	昭和22年5月
資本金	14,640,795,671円
従業員数	1,353名
本社	〒169-8885 東京都新宿区北新宿二丁目21番1号 新宿フロントタワー
関西支社	〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目2番7号 中之島セントラルタワー23階
営業所	北海道営業所 / 九州営業所

工場	足利第一工場 / 足利第二工場 滋賀第一工場 / 滋賀第二工場 美唄工場 / 九州工場
主な連結対象子会社	ACHILLES USA, INC. 阿基里斯 (上海) 国際貿易有限公司 アキレスコアテック(株) 関東アキレスエアロン(株) 大阪アキレスエアロン(株) その他15社

● 役員 (平成30年9月30日現在)

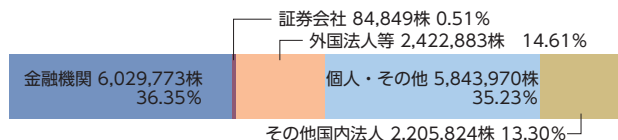
代表取締役社長	伊藤 守	
専務取締役	小林 英明	(営業部門統轄兼産業資材部門担当)
常務取締役	日景 一郎	(製造部門統轄兼生産革新担当)
常務取締役	藤澤 稔	(CSR・人事総務・経理担当兼コンプライアンス本部長)
取締役	永島 照明	(シューズ部門担当兼シューズ製造本部長)
取締役	大蔵 孝也	(プラスチック部門・購買担当兼車輪資材事業部長)
取締役	米竹 孝一郎	
取締役	佐藤 修	
常勤監査役	山田 茂	
監査役	須藤 昌子	
監査役	有賀 美典	

注記 1. 取締役米竹孝一郎氏および佐藤修氏の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役須藤昌子氏および有賀美典氏の両氏は、社外監査役であります。

● 株式の総数等 (平成30年9月30日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	16,762,714株
株主数	12,161名

● 株式分布状況 (平成30年9月30日現在)



注記 上記のほか、当社所有の自己株式175千株があります。

● 執行役員 (平成30年9月30日現在)

執行役員	柏瀬 功次	(建築事業部長兼デザインセンター長兼建築販売部長)
執行役員	山本 勝治	(ウレタン事業部長兼支社ウレタン販売部長)
執行役員	小林 一俊	(安全環境担当兼製造管理本部長)
執行役員	小宮 寄徹	(関西支社長)
執行役員	嶋倉 茂夫	(プラスチック製造本部長兼プラスチック工場長)
執行役員	松田 光弘	(断熱資材事業部長兼支社断熱資材販売部長)
執行役員	中山 直樹	(研究開発本部長兼基礎研究開発グループ長)
執行役員	海野 実	(シューズ事業部長兼シューズ営業本部長)
執行役員	根岸 康夫	(化成品事業部長兼フィルム販売部長)
執行役員	寺岡 伸	(人事総務担当補佐兼人事総務部長)
執行役員	松宮 浩樹	(物流改革担当兼情報システム部長)
執行役員	横山 浩	(産業資材製造本部長)
執行役員	河原 雅明	(品質保証本部長兼生産革新推進部長)
執行役員	河野 和晃	(経理本部長兼経理部長)

● 大株主 (平成30年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	813	4.91
東京アキレス協和会	695	4.19
足利アキレス協和会	541	3.27
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	490	2.96
株式会社三菱UFJ銀行	440	2.65
大阪アキレス協和会	435	2.63
みずほ信託銀行株式会社	431	2.60
朝日生命保険相互会社	431	2.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	375	2.27
GOVERNMENT OF NORWAY	359	2.17

注記 上記のほか、当社所有の自己株式175千株があり、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日
	中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会	6月中
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続き取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店 (トラストラウンジ除く)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 (トラストラウンジ除く) みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続き取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公 告 方 法 電子公告 (<https://www.achilles.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待のご案内

お問い合わせは、当社「株主優待係」まで
(電話03-5338-9205)

ジュニアスポーツシューズのトップブランド「瞬足」と、医療分野でも使用されている衝撃吸収・圧力分散素材「SORBOTHANE(ソルボセイン)」を踵部に搭載し、歩きやすく、疲れにくいウォーキングシューズ「ACHILLES SORBO(アキレス・ソルボ)」,そして「SORBOTHANE」の特性を活かしたインソール、サポーターなどを100株以上ご所有の株主の皆様に、ご優待価格でお買い求めいただけます。さらに、WEBを利用してご注文の場合は、「アキレスウェブショップ」で取り扱いしております全商品が優待対象となります。

ACHILLES SORBO



あなたの身近にいつも…アキレス

Achilles

アキレス株式会社

〒169-8885
東京都新宿区北新宿二丁目21番1号
新宿フロントタワー
<https://www.achilles.jp>

UD
FONT

